
プリキュア_{vs}プリキュア ASTRAY STORY

ALST G

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

プリキュアvsプリキュア ASTRAY STORY

【Nコード】

N1607Y

【作者名】

ALSTG

【あらすじ】

とある世界、プリキュアは世界の敵にされた。そう何者の陰謀により戦士の栄光は失ってしまった。そしてプリキュアは二つの勢力に別れ、愚かな戦いを繰り広げていた。

そして、その悲劇が起きてしまった結果、ある者は力を失い、とある者は心を折れ、そしてある者は闇の戦士に堕ち、プリキュアに災厄をもたらし、やがて全滅するかに見えた。

だが、この最悪の戦いは天上人とある二人の勇者によって、プリキュア同士の戦いは終結し、破壊された絆は再生される。これは二

人の勇者、星川勇奈と海東湊、そして世界の破壊者達と六人の宇宙海賊が邪悪なる存在の陰謀により、世界の敵にされたプリキュアを救うために戦う勇者達の物語である。

主要人物紹介？

登場人物

三人の英雄

プリキュア同士が戦う世界に現れた三人の救世主。目的はプリキュア同士の戦いを終わらせる事と世界を救うことである。

星川勇奈／キュアコスミック

ガイアセイバースプリキュアワールド支部に所属するプリキュア。世界の破壊者、ダークエンジェルの凶行を止めるべく世界を渡り歩いている。20歳。藍色のショート的美女で、プリキュアの中では最もスタイルがいい。あらゆる世界の英雄とは面識があり（ASTRAY STORYに登場するデイケイドー行やゴーカイジャーも勿論面識がある）、戦闘能力はかなり高く、敵からすれば敵に回してはいけないプリキュア。ズヴェスタ曰く救済のプリキュアと呼ばれており、かつて、ズヴェスタと交戦したことがある。世界を渡り歩いている時に、プリキュア同士が戦っている世界の存在を知り、プリキュア同士の戦いを止めるべく、この世界の『美墨なぎさ』達に協力する。名乗り口上は「平和を守護する星の輝き、キュアコスミック！」。天上人のヴェーダには世界を救う救世主であり、監視者のヴェーダには計画を破綻する者と認識している。その時の称号は流星のプリキュア。

武藤アイリ／キュアディリー

ターザンさん発案のオリジナルプリキュア。ヤイバの世界出身で元

々は世界征服を目論む組織、プロトに所属していたが脱走。その時に武藤蒼牙と出会い、蒼牙を仮面ライダーヤイバの変身者にした。その後も蒼牙と一緒に戦い、後に結婚、夫婦になる。星川勇奈とは一緒に戦った事がある。名乗り口上は「全ての光の集大成、キュアデイリー！」天上人のヴェーダには世界を救う救世主であり、監視者のヴェーダには計画を破綻する者と認識している。その時の称号は破壊者のプリキュア。本作は勇奈と湊視点の物語の為、出番は少ない。

海東湊 / キュアパイレーツ

『海賊と???』の世界出身のプリキュア。冷静に見えるが、本当は考えるより先に行動する不屈の心を持つ少女。「プリキュアは協力」と考えており、仲間に対して最良の事態を考えた行動を心にかけている。実は世界を股に駆ける大泥棒、海東大樹 / 仮面ライダーディエンドの妹。サバーニヤ曰く、思想上、絶対に交わらない人と認識しており、デスバイアからすればのぞみの洗脳が解かれてしまう原因と認識している。決め台詞は「派手に行つてやるわ！」名乗り口上は「変革を呼ぶ自由の海賊、キュアパイレーツ！」天上人のヴェーダには世界を救う救世主であり、監視者のヴェーダには計画を破綻する者と認識している。その時の称号は海賊のプリキュア。同作品の「プリキュアオールスターズ出現！最強のプリキュア」にも登場する。

天上人

プリキュア同士が戦い合う世界出身の世界のプリキュアで、プリキュア同士の戦いを止めるべく戦っている。当初は勇奈、アイリ、湊には不信を抱いていたが、彼女の行動を見て協力的になる。

天上刹那ノキュアエクス

刹那・F・セイエイさん発案のオリジナルプリキュア。『天上人』のリーダー格。生体情報端末、イノベイド。14歳。ヴェーダによって『造られた』存在。剣撃戦を得意とするプリキュア

水澤睦月ノキュアアルガティア

『天上人』のナンバー2格。ガイアセイバースガンダム00支部の生き残り。プリキュア同士の戦いの悲惨さを知っており、最悪の戦いを止めるべく戦っている。プリキュアにしては珍しい銃撃戦タイプ。実は『夢原のぞみ』の事を心配している。

天宮唯ノキュアセラフ

『天上人』の斬り込み隊長。大富豪天宮グループの令嬢で水無月かれんとは付き合いがあった。自分を殺した邪悪なる大地こと秋元こまちには憎しみを抱いている節があるといわれているが、詳細は不明。

監視者

『天上人』同様、プリキュア同士が戦い合う世界出身の世界のプリキュアだが、この世界のプリキュアからすればプリキュア同士の戦いを起こした元凶と認識しているらしいが、詳細は現時点では不明。

式波今日子ノキュアサバーニヤ

『監視者』のリーダーであり、明日香の双子の姉。14歳。左目に眼帯を覆い隠している。過去にプリキュアのリーダーを務めていた

が、ある事件によって仲間を殺してしまった過去があるが本人は一切語ろうとしない。アスナや湊に対しては、決して交わらない人間とみなしているが理由は不明。クロスレンジやロングレンジまでこなす生粋の戦士。

天王自由ノダークデスバイア

『監視者』のナンバー2であり、水澤睦月の数少ない親友の一人。周囲から『処刑人』と呼ばれているが、本人はその仇名を嫌っている。荒っぽい戦いを得意とする。後述のダークネスキュアドリームに関わりがある人物。

惣流明日香ノダークグライフアー

『監視者』の斬り込み隊長で今日子の双子の妹。周囲から『狩人』と呼ばれているが、本人は気に入っている。接近戦のプロフェッショナル。

綾波光ノダークバインド

『監視者』の砲撃隊長にして今日子、明日香の幼馴染。自由を心酔している。遠距離では最強といわれている。

ダークネスキュアドリーム

『監視者』側に加わった闇のプリキュア。正体は監視者によって拉致され、洗脳した『夢原のぞみ』本人。なぎさ達の事を忘れており、今日子達を慕っている。普段は甘えん坊だが、戦闘時は冷酷な性格になる。この世界のプリキュアのせいで全てを失ったと思い込んでおり、自らをプリキュアの『破壊者』と名乗っている。自由曰く洗

脳は完璧といつているが、湊に出会ってからは原因不明の頭痛に悩ませるようになる（ASTORY STORYでは、湊に加え、士やマーベラスの邂逅によって頭痛が酷くなっている）決め台詞は「私は夢も希望も失った。だから、貴方の希望を絶望に染めてやるわ」名乗り口上は「大いなる絶望の力・・・ダークネスキュアドリーム」ちなみに本編にも登場する。

その他

キュアズヴェスタ

プシエミスル発案のオリジナルプリキュア。別の世界のプリキュアで、ここへ来る前はプリキュア部隊の隊長を務めていた。争いや自然の破壊、さらに自分がいた世界の敵の真実を見て人類に絶望し、世界を滅ぼそうと目論む。『世界破壊派』のプリキュアの黒幕であり、別名は邪悪なる救星主。過去にコスミックと交戦したが、結果は惨敗。それ故にキュアコスミックの存在を人一倍恐れている（ズヴェスタ曰く、彼女に遭ったらつぼみとこまちといつきは確実に殺されると語っている）

アスナノキュアトリズナー

『反逆者の世界』出身のプリキュアでスラムに隠れ住んでいる少女達を纏めている。この世界に来たなぎさ達の事を気に入っており、一騎打ち後は仲間として協力する。荒々しいような雰囲気だが実は知性が高い。ズヴェスタ死亡後は世界破壊派のプリキュアを受け入れたものバラバラな状態のプリキュアの緩衝役として活躍している。『天上人』と違いすんなりと三人の英雄を受け入れる器量を持つ。

主要人物紹介？（後書き）

次はASTRAY STORYのみ登場する人物紹介の予定

プロローグ(前書き)

このプロローグ、ネタバレあり

プロローグ

とある世界、プリキュアは世界の敵にされた。そう何者の陰謀により戦士の栄光は失ってしまった。そしてプリキュアは二つの勢力に別れ、愚かな戦いを繰り広げていた。

そして、その悲劇が起きてしまった結果、ある者は力を失い、とある者は心を折れ、そしてある者は闇の戦士に堕ち、プリキュアに災厄をもたららし、やがて全滅するかに見えた。

だが・・・

ブラック「新手？、あんたは一体？」

ホワイト「何者なの」

????「安心しなさい。私は貴方達の味方よ」

ブロッサム「誰なんです貴方は!？」

サンシャイン「あと少して邪魔者は排除できたのに、誰だお前は？」

コズミック「平和を守護する星の輝き、キュアコズミック!」

救済の戦士にして、流星の名を冠するプリキュア、キュアコズミック

そしてもう一人は

ローズ「やめなさいのぞみ!あんた、何でこんな事するの?」

トリズナー「こまちとつばみは仲間ではないのか」

DCドリーム「仲間?あいつらは私の敵だ。サバーニヤ達だけが私

を救ってくれたんだ！」

こまち「もう、これは当然の報い。死んで当然な事をしたのよ私達は」

つぼみ「もう、だめです。殺してください・・・」

????「気に入らないわ貴方」

DCドリーム「私の邪魔をするなんて誰よ貴方？」

キュアパイレーツ「変革をもたらす自由の海賊！キュアパイレーツ」

再生の戦士にして、海賊の名を冠するプリキュア、キュアパイレーツ

そして

市民「何だよお前ら、俺達の邪魔をして何なんだ！」

士・マーベラス「通りすがりの」

士「仮面ライダーだ！」

マーベラス「海賊だ」

世界の破壊者、門矢士と海賊戦隊ゴーカイジャーのリーダー、キャプテン・マーベラス

そう、この最悪の戦いは天上人とある二人の勇者によって、プリキュア同士の戦いは終結し、破壊された絆は再生される。これは二人の勇者、星川勇奈と海東湊、そして世界の破壊者達と六人の宇宙海賊が邪悪なる存在の陰謀により、世界の敵にされたプリキュアを救うために戦う勇者達の物語である。

そして、物語はある事件より始まる

00 支部の惨劇（前書き）

ここはおそらく刹那さんの外伝にリンクするかも知れない

00支部の惨劇

ガンダム00の世界

炎上する基地で一人の少女は悲しみに暮れていた。その少女の名は水澤睦月、その時の彼女はまだプリキュアになっていなかった。

睦月「ノワール、エスポワール、レーゲン、リーベ。どうしてよ。どうして私だけを残して死んじゃったのよ。起きてよ、起きてよ

」

その炎上する基地の外では、時空管理局の部隊が待機していた。その光景を白い魔術師の衣装を纏った少女は嘲笑するように見ていた。

「???」ふっ、あの基地もこれで終わりだな。あの忌々しいガイアセイバーズ00支部もあつてなく終わったな」

兵士「当然でしょう。あの支部は前々から我々に反感を抱いていましたからね。当然の報いでしょうなのは様」

なのは「そう、この世界を守っているのは時空管理局のおかげだというのに、それをあいつらは悉く逆らいおった。これは見せしめよ。さあ、後は事後処理よ。急いでやりなさい」

そう、この基地の破壊活動を指揮していたのは、高町なのは。機動六課、スターズの隊長である。だが、本来の彼女はそういう行為をするような人間ではない。そう、彼女はなのはであってなのはではないのだ。そう、彼女の本性を知るのはかなり先である。

そして、事後処理はされ、基地は廃墟にされた。だが、その基地の廃墟にて、とある男達が来訪をしていた。

「???」「これは酷いな。見せしめとはいえここまでやるとは、時空管理局も容赦しないな」

「???」「それはないだろ。全く、こっちの時空管理局と一緒にするな！迷惑だろ！」

「ははは、確かにな、これじゃ光明寺の娘さんも戸惑うだろうな。自分を救ってくれた時空管理局が非道な真似をするなんて信じられんだろうな。だが、ミガト、お前の所は大丈夫だろ」

「ミガト」「当たり前だろ。こっちはもし馬鹿な事をしないよう、評議会が見ているからな、それに」

「何だ？」

「ミガト」「そっちには、お前がやったあのロストロギアをやって、その後はプリキュアとして戦っているあいつがいるだろ」

「そうだな、彼女とあの二人なら大丈夫だな。きっと、やっていけるな。それより」

「ミガト」「なんだ？」

「この問題どうする？報告すべきか」

「ミガト」「そうだな、一応は報告しておくべきだな」

「なら、一度戻るとするか、って」

そこで携帯電話から電話音があった

「悪い、電話が鳴った。先に戻ってくれ」

「ミガト」「解った、出来れば早く戻ってくれよ。お前がいないと仕事処理が遅くなるからな。と言うよりお前が早すぎだろ・・・」

そして、ミガトは灰色のカーテンを出して元の世界へ戻った

「誰だ？」

「???」「私よ」

暁「勇奈か。何で俺のところへ電話をよこしたんだ？」

勇奈「御免なさい。貴方もブラックリストにのっているのは解っているの。でも、お願いしたい事があるの」

暁「それは何だ？」

勇奈「今、貴方が見たあの惨状の事話してくれない。貴方のところは大丈夫だと聞いているし。そちらの時空管理局も許可を得ているの。お願いできないのかしら？」

暁「まあ、言いでしょう。その事は言いますが、その事は極秘にしてくれよ」

勇奈「解ったわ」

暁はその惨劇の事を話した

勇奈「ありがとう。感謝するわ」

そうとうと携帯電話の通話を切った

暁「やれやれ、こついつのは何かよくない予兆が起きるな。さて、俺も戻るか」

そして、灰色のカーテンを出し、元の世界へ戻った。

そして暁が去つてすぐの後、廃墟の基地の中に一人の少女が見つかった。その手には光り輝く腕時計を手にして・・・

時空管理局

時空管理局の中枢には本来入れないところになのはがいた。彼女は
ある世界の映像を見ていた

なのは「プリキュアの世界か。さて、この世界で少し細工をするか」
そういとなのはは邪悪な笑みを浮かべた。その目は虚無のような
灰色をしていた。

00 支部の惨劇（後書き）

次回勇奈、登場？

ちなみに暁と言う人は私発案のオリキャラです。

邪悪なる謀略（前書き）

最初に言うておく。ガンダム00の世界の高町なのはは邪悪にしてエゴイストである。よって原作のなのはとは別物である！イメージが違う？それもそのはず、彼女は全ての元凶だからだ。

邪悪なる謀略

時空管理局中枢。

コンピュータールームにて高町なのははプリキュアの世界の映像を見ていた。

なのは「さて、まずはどうやってプリキュアの世界でプリキュアを世界の敵に仕立ててやるか」

思索している所を、なのはに忠誠を誓う兵士が入ってきた。

兵士「なのは様、それでしたら、この兵器を使ってみてはいかがでしょう。資料はこちらに用意しています」

そういうと兵士なのはにある資料を渡した。それは

なのは「なるほど、ガンダムAGEの世界のUEとクロウ・ブルーの次の世界の次元獣の特性を持った兵器か。これは何だ？」

兵士「ゼロードーです。この兵器は核ミサイルすら耐える生体兵器です。破壊できるのはプリキュアの力のみです。そして大量生産が出来ます。いかがでしょうか」

なのは「いや、この兵器はプリキュアが全滅した時に投入すればいい。他に何かあるか？」

兵士「はっ、これはカブトの世界にあるワームの特性を持った兵器です。あらかじめ貴方が滅ぼす世界のヒーロー、プリキュアのデータを仕込みました。こうすることによってプリキュア達は世界の敵に仕立てることが出来るのです」

なのは「ほう、面白いな。後は」

兵士「プリキュアの世界にあらかじめ投入した兵士を投入します。見かけは世界の市民にしか見えません。こうすることによって、プリキュアの世界の市民を我々の手で自由に操る事が出来ます」
なのは「そうか、これで全部か？」

兵士「はい、そうです」

なのは「解ったわ。まずは特殊兵士をプリキュアの世界に派遣せよ。その後に、私の息がかかった人間をプリキュアの世界の人間として成り済ます。そして、プリキュア達を全滅した後はゼローダーで世界を滅ぼす。そしてこの世界を無に帰すのだ」

兵士「なのは様、最後の発言は他の連中にはばれる恐れがあります。

今のは黙ってください」

なのは「わかったわ。用はこれだけか？」

兵士「はい、これで全部です」

なのは「そうか、後は下がれ」

兵士「はっ！」

兵士が去ると、なのはの手から、灰色の光を三つ出した

なのは「ただ、滅ぼすのは面白くない。どうせならプリキュア同士、醜く争って滅ぼすのも一興だな。愚かなガンダム00の世界のガイアセイバーズみたいにな」

そして、三つの光の一つは、プリキュアの世界に入り、残る光も、別の世界へ転移した。

光がプリキュアの世界に入ったのを見届けると、なのはは中枢を出た。

なのは「愚かなプリキュアよ。私の手の中で無様に踊るがいい」

嘲笑を浮かびながら、エレベーターに向かうのは、そして灰色の

目は元の茶色の目に戻った。

なのは「後は普段の高町なのはを演じるとするか」

その悪意は、時空管理局からプリキュアの世界へ渡っていった。

その目論見通り、プリキュアの世界は最悪の方向へ向かおうとしていた。

そう、プリキュアが悪行を働いていると言う事態が起きてしまったからだ。

最初は手の込んだはずだが、捏造かと思っていたが、愚かなことにマスコミは

この報道を本当のニュースではないのかと思い込んでしまい、そして、

プリキュアは世界の敵となった

そして、世界は地獄と化し、プリキュアは二つの陣営に分かれてしまった

一つは世界を滅ぼし、自らを世界の支配者になろうと企む世界破壊派

もう一つは、世界の敵になっても世界を守ろうとする世界守護派

この二つに分かれてからは、プリキュアは醜い戦いを繰り広げた。

特に世界破壊派に組する三人は、プリキュアの名を汚す裏切り者人は邪悪なる下僕と呼ぶ

邪悪なる太陽・キュアサンシャイン

邪悪なる花・キュアブロッサム

邪悪なる大地・キュアミント

この三人の存在によって世界守護派は苦戦を強いられていた。さらに異世界から人類を滅ぼす事を目論む邪悪なプリキュア、邪悪なる救星主キュアズヴェスタの登場により世界は混沌と化そうとしていた。

だが、そんな愚かな戦いを止める為、世界を守る者、天上人と異世界より現れたプリキュアの登場により、世界守護派は反撃の時を迎えようとしていた。

その三人の天上人の名は

キュアアルガティア

キュアエクス

キュアセラフ

特にキュアアルガティアは高町なのはによって滅ぼされたガイアセイバーズガンダム00支部唯一の生き残りである。

だが、この戦いが終わっても、プリキュアは更なる災厄を迎える事をまだ知らない。

そして、この世界を救う者が現れるのはまだ先の話である。

次元の挟間

次元の狭間にて、プリキュアの世界の様子を見ていた勇奈

勇奈「この世界のプリキュア達は醜く争っている。貴方達は本当の敵に踊らされているのに、何故気づかないの？」

????「この戦いは邪悪なる意思によって引き起こしているのだよ
勇奈」

不意に現れた存在に気づき、振り向く勇奈。そこには眼鏡をかけた
コートの中年がいた

勇奈「貴方は、鳴滝なのか？」

その中年の男は鳴滝。彼は世界の破壊者デイケイドに憎しみを抱く
預言者である。だが、この鳴滝は違っていた。

勇奈「鳴滝、貴方は何故私の前に現れたの？」

鳴滝「星川勇奈、君の事は知っている。世界の破壊者、ダークエン
ジェルの脅威から世界を守るために世界を渡り歩き、ヤイバの世界
ではタイラントを倒し、世界の支配者コンカロードを打ち破り、上
原大人の世界では地球解放軍の凶行を止め、ジュエルマスターの世
界では地獄衆のオーガと互角に戦った流星のプリキュア、キュアコ
ズミック。君にお願いしたい事がある」

勇奈「何かしら？」

鳴滝「どうか、プリキュアの世界の醜い戦いを・・・」

勇奈「心配ないわ。私もこんな戦いを止めるつもりよ」

鳴滝「そうか、なら頼む」

勇奈「解っている。でも、この戦いをとめるには私だけでは足りな
い」

鳴滝「どうするつもりだ」

勇奈「あいつらを呼ぶわ」

鳴滝「誰をよぶ気だ？」

勇奈「一つは世界の破壊者、仮面ライダーデイケイド、もう一つは
海賊戦隊ゴーカイジャーよ。彼らはコンカロードの戦いで協力して
いるのから大丈夫よ」

鳴滝「そうか、もしかすると、彼らの力がなければ救えないのか？」

勇奈「そうかもしれないわ。何故なら相手は世界を滅ぼす存在だか
らな。もしかするとデイケイドをも越える邪悪かもしれないわ」

鳴滝に伝言を言うと、灰色のカーテンを出し、次元を渡ろうとしていた。その時

鳴滝「待て！」

鳴滝に呼び止める勇奈

勇奈「何かしら？」

鳴滝「私も予言を言おう。君の向かう世界にはもう一人世界を救うものが二人いる。その内の一人は君が知っているプリキュア、そしてもう一人は、海賊のプリキュアだ」

勇奈「海賊のプリキュア？何の事だ？」

鳴滝「おそらく、君も一度会うかも知れんぞ」

勇奈「解ったわ。その言葉、覚えとくよ」

そして、灰色のカーテンの向こうへ行った勇奈。

プリキュアが世界の敵になった世界で彼女の戦いが始まる。

邪悪なる謀略（後書き）

この鳴滝さんは善良なひとです。クロウ・ブルーストの世界とは第二次スパロボZの世界の事です。

勇奈はゴージャイジャー、ディケイドとは知り合いです。

次回は勇奈、プリキュアvsプリキュアの世界に現れます。

けど、もう一つシナリオ来るかも・・・

時空管理局（前書き）

ぐだぐだになってしまったか。最後は暁にとんでもない事実発覚？

時空管理局

時空管理局（風上光の世界）

時空管理局にて暁達はフェイト・T・ハラウン、高町なのは、八神はやてのいる機動六課のオフィスにいた。フェイト達は暁達の報告を聞いて愕然としていた。

フェイト「そんな・・・ガンダム00支部の時空管理局がこんな非道な事を」

暁「ああ、どうやら何かをもみ消そうとしていたらしい」

はやて「一体誰がやったんや!？」

暁「おそらく、此方の世界の高町なのはの仕業らしい」

暁の報告を聞いて、絶句するなのは

なのは「うそだよな。別世界の私が文字通り魔王みたく非道な事をしているなんて・・・」

ミガト「いや、むしろなのはが文字通り魔王みたいな事をする事態がおかしいだろ」

暁「ミガト、そういう問題ではない・・・」

はやて「確かに、なのはちゃんは非道な行為なんてせんわ!」

フェイト「そうね。なのはは無茶な事をして困らせる事をするけど、あんな非道な事をするなんて、想像できないわ」

はやてとフェイトの発言で困らせるなのは

なのは「もう、フェイトちゃんにはやてちゃん。からかわないですよ!」

フェイト「ごめん、なのは」

なのは「所で、そのガンダム00支部の時空管理局の事だけど、どんな感じだったの？」

なのはの質問に答える暁達

暁「最悪だな。あえて言うならガンダム00の世界でかつて存在していたアロウズのような感じだったな」

ミガト「まるで、メンバーは傲慢その物。自分が一番偉いと思っ
ているようだな」

暁「こつちの世界のはやとフェイトはましたが、なのはは最悪だ
な。自分勝手に、他人を馬鹿にするような目でみるエゴイストだな」
ミガト「上層部が腐敗しているせいで、こつちの世界は内乱やテロ
ばかり起こしてやがる。まるでかつていたダークネスと名乗る反乱
軍のときより酷いぜ」

ミガトの言葉を聞いてかしげるフェイト

フェイト「ダークネス？それは一体？」

フェイトの疑問を聞いて暁は答える。

暁「ダークネスとはかつて居た八人の闇のプリキュアをリーダーと
した反乱組織だ。そのリーダーはキュアデスサイズこと聖條凜々で
彼女らはアロウズの弾圧のせいで村を破壊されたせいで連邦を憎み、
反乱を起こしたんだ。もつとも、そいつらはガイアセイバースによ
って鎮圧したと聞いている」

フェイト「こつちの世界にもガイアセイバースがいたの？」

ミガト「確かにいたんだが、今はもう存在しないんだ」

フェイト「どうしてなの？」

暁「俺達が来たときには、ガイアセイバーズガンダム00支部は壊滅していたんだ。どうやらあいつらは見せしめの為に殲滅しやがったんだ」

フェイト「何の為にそんな事をしたの？」

フェイトの疑問を意外な人が答える

「???」おそらく、時空管理局に逆らう組織を消し去る為だろう」

そこに現れた人物を見て驚くのは

なのは「あれ、何でユーノ君がここへ来ているの？」

そこへ現れたのは、時空管理局「無限書庫」の司書長、ユーノ・スクワイアだった。

ユーノ「なのは、実は皆に言わなければならない事があるんだ」
なのは「それって何？」

ユーノ「ガンダム00の世界で起きた時空管理局の行動だ」
なのは「時空管理局の行動って？」

ユーノは時空管理局の行動の事を話していた。すると

フェイト「何ですって！仲間同士が殺し合いを・・・」

ユーノ「そう、磐石な絆で結んでいたガイアセイバーズは意見対立を発端にいがみ合ってしまったんだ」

はやて「なっ、何でいがみあうんや!？」

ユーノ「それは、アロウズが壊滅した後プリキュアは撤廃すべきか存続すべきかと意見が分かれてしまったんだ。そしてすれ違い、いがみ合い、そして憎しみ合い、そして、最後はお互いを敵とみなし

て殺し合いに展開してしまうんだ」

なのは「その後は・・・」

ユーノ「ガイアセイバースガンダム00支部は壊滅、メンバーは全員死亡したと時空管理局が発表しているんだ。こちらでは反連邦勢力の襲撃によって全滅しているとみなしているんだ」

ユーノの言葉を聞いて、静かに怒りを震える暁達

暁「自分の手を汚さずに敵を消そうとする行為、許されんな・・・」
ミガト「ああ、まさに卑劣その物だな」

そんな暁達の怒りを知っているか、ユーノはある事を言う

ユーノ「けど、生き残りは一人だけ居たんだ」

なのは「生き残り？」

ユーノ「そう、唯一の生き残りの名は水澤睦月。ガイアセイバースの一員の一人だ。現在、彼女はプリキュアとして、ある世界である戦いを止めるべく戦っているんだ」

なのは「それは」

ユーノ「プリキュア達がいがみ合って醜い戦いを繰り広げている世界で、プリキュア達の戦いを止めようとしているんだ」

フェイト「何の為に？」

ユーノ「この世界では、何者かによってプリキュア達を世界の敵に仕立てたんだ。それを知らないこの世界の一部のプリキュアは世界を破壊し、自らを支配者になるべく、邪魔をするプリキュア達を排除しようとしているんだ」

はやて「何て奴や！プリキュアの風上にも置けん屑や！」

ユーノ「そして、この世界はある存在によって滅ぼされてしまうんだ」

なのは「ある存在って？」

ユーノ「プリキュアその者を破壊する闇の戦士。通称『プリキュアの破壊者』が世界を滅ぼすんだ」
フェイト「プリキュアの・・・破壊者・・・。そんなの現れるの？」
ユーノ「可能性はある。もし、醜い戦いが続けば、いずれ誰かが破壊者になってしまうんだ」

ユーノの言葉を聞いて暁は言う

暁「ユーノ、可能性が最も高いのは誰だ？」

ユーノ「おそらく、希望の戦士が破壊者になるかも知れない」

暁「希望の戦士か・・・。ほっとけないな」

ユーノ「どうしてなんだ？」

暁「俺の関係者にプリキュアがいるんだ」

暁の発言に驚くのは

なのは「嘘！暁さんの知り合いにプリキュアの関係者がいるなんて・・・」

暁「悪いな、なのは。俺も訳ありなんだ」

なのは「そうなんだ、でっ、どうするの？」

暁「俺も、プリキュア同士の戦いを止めに行く！このままほっとけば世界は滅ぼされるからな」

なのは「当てはあるの？」

暁「あるぞ」

そういつと暁はオフィスへ出て、ある世界へ向かう

はやて「暁さん、どこへ向かうんや？」

そういつと暁は答える

暁「海賊と????の世界だ」

暁は異世界へ向かおうとするが

ミガト「暁!どうせなら俺も連れてくべきだろ」

暁「いや、ミガトは時空管理局に残ってくれ。妻を心配させるつもりか？」

ミガト「うっ、まあ、妊娠している妻を置いておくわけにはいかな
い。何の為にそこへ向かうんだ？」

暁「まあ、あえて言うなら、俺の娘に手伝わせる為だ。勿論、あ
いともプリキュアだ」

ミガト「なっ?暁、お前娘いたの？」

暁「ああ、最も養女なんだが」

暁はプリキュア同士の戦いを止める為、ある世界へ向かうのだった。

とある都市

????「湊、お前も最悪の戦いに巻き込まれるのか・・・」

そういうと、謎の青年は、街を歩いた。手に青い銃を携えて

時空管理局（後書き）

最後に出た青年は、ある人の兄です。そして、暁とあの二人にはつながりがありますが答えは後ほど

今回は勇奈がプリキュアvsプリキュアの世界に現れます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1607y/>

プリキュアvsプリキュア ASTRAY STORY

2011年12月10日01時54分発行